

2026年度 第14回 いたばしじゆうな研究コンテスト 応募用紙

(学校推薦応募・個人応募) どちらかに○をつけてください

事務局確認欄		
受	学郵・学直・個郵・個直	
返	学交・学直・個直	

学 校 名			学 年	
氏 名			保護者署名 内面「保護者の方へ」を ご確認の上、ご署名ください。	
住 所	〒 (電話)		(メールアドレス)	
タイトル				
提出形態	(記入例:レポート1冊)			

受賞者の皆さんへお願い

受賞された皆さんには、表彰式ならびに作品展に際して次の通りお願いをさせていただきます。

- 第14回いたばしじゆうな研究コンテスト表彰式への出席をお願いします。
・発表のための読み原稿(200字程度)の執筆をお願いします。適宜メールで教育科学館職員がフォローいたします。
・表彰式と併催するギャラリートーク(2026年12月5日(土)@教育科学館)への出席をお願いします。遠方の方はご相談させていただきます。
- 第14回いたばしじゆうな研究作品展に出展いただきます。
・作品の実物を展示いたします。
・作品展用に教育科学館職員が制作する展示の内容に問題ないかを、メールで確認していただきます。
(科学館で作成予定のもの:作品説明のパネル、作者の等身大パネル、ご本人インタビュー映像、ハンズオン展示)
・作品を紹介するA3ポスターの作成をお願いします。
・その他、作品に関連する写真や資料等のデータ提供をお願いする場合があります。
- マスター・オブ・じゆうな研究の受賞者は、希望される場合、
全国児童才能開発コンテスト(主催:公益財団法人才能開発教育研究財団)に応募することができます。(小学生のみ)

応募受付期間 2026.9.15(火) - 9.30(水)

2026年度 いたばしじゆうな研究作品展のご案内

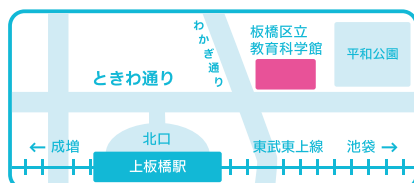
本コンテストの受賞作品を科学館職員が展示用に再構成し、冬の企画展として展示します。

第1期 2026年12月5日(土)～2027年1月11日(月・祝)
板橋区立教育科学館 館内各所
東京都板橋区常盤台4-14-1

第2期 2027年1月12日(火)～1月15日(金)
板橋区役所 北館 1階ギャラリーモール
東京都板橋区板橋2-66-1



表彰式 | 2026年12月5日(土) 教育科学館にて表彰式と各賞受賞者によるギャラリートークを行います。



ITABASHI Science & Education HALL
板橋区立教育科学館

開館時間: 9:00～16:30
〒174-0071 東京都板橋区常盤台4丁目14-1
TEL: 03-3559-6561 FAX: 03-3559-6000
<https://www.itbs-sem.jp/>



気になることにどっぷりひたれ!



応募受付期間
2026.9.15(火) - 9.30(水)



ITABASHI Science & Education HALL
板橋区立教育科学館

いたばし区外からも大歓迎!

※モチーフは昨年の受賞作品です



あなた自身の手による**オリジナル**な研究・探究の成果を募集します。

論文・レポートはもちろん、**標本・模型・美術作品**など、

さまざまな形での表現を受け付けます。

科学・技術・工学・芸術・数学など、どんな分野でも

大歓迎します。応募作品は審査委員会にて選考し、

独創的な作品を表彰するとともに、

館内外で展示いたします。みなさまからの

ご応募をお待ちしています。

お花の美しさとは？



みんなさきく花のヒミツ 青木夕美

審査基準

次のような作品は応募できません。

①CD・DVD・USBなどの電子データ ②危険なもの、
展示にふさわしくないもの ③ウェブサイト・本・テレビ
番組で紹介されたもの、またはアイデアを
そっくり使っただけのもの(きっかけと
なるアイデアが既存のものでも、
考察や表現などにオリジナリティ
が認められるものは応募
できます。) ④著作権のある
キャラクター、および類似した
デザイン・名称を使ったもの

次にあげる評価軸のいずれかあるいはすべてにおいて、
特に優れた点が認められた作品に対して賞を授与します。

- 1.【着眼点】テーマの設定における着眼点が、
極めて独自性に富んでいるもの
- 2.【プロセス】制作過程において、
綿密なリサーチを背景とした
考察・推論を経て、
成果物を導き出しているもの
- 3.【表現】成果の表現方法にユニークな
工夫が施され、特に魅力的であるもの

クレイジー・ ジニアス

部門

突出した個性が光る、あるいは
これまでにない新しい視点を
感じる研究におくる賞。

副賞：研究費5000円

※各作品に合わせて、
審査委員が独自に賞名をつけます。
※研究費は商品券でお渡しします。

マスター・オブ・ じゅうな研究

部門

あらゆる審査基準において、
総合的に極めて高水準な研究におくる賞。

グランドマスター賞 副賞：研究費5000円

マスター賞 副賞：研究費5000円

※研究費は商品券でお渡しします。

審査の流れ

一次審査

教育科学館の研究員が審査を行います。すべての
作品に科学館スタッフからのお手紙をつけます。

二次審査

一次審査通過作品の中から、審査委員により
最優秀賞をはじめ各賞受賞作品を選考します。
結果は**11月11日(水)**までに当館
ホームページより公表します。

作品の 形態等

「審査基準」の

内容がわかりやすい形で
あれば、形態は問いません。

論文・レポート等で提出する場合

- ①A3用紙サイズ以下を推奨します。
- ②模造紙大で作成する場合は、折りたたんでもよいものと
してください。
- ③展示や輸送において最大限配慮いたしますが、破損して困るものの
応募はご遠慮ください。なお、受賞した場合は原則実物を作品展にて
展示いたします。

標本・模型・美術作品等で提出する場合

- ①幅・奥行き・高さの3辺合計が200cm以内となることを目安とし、
それ以上の大きさの提出を希望する場合は事前に教育科学館まで
お問い合わせください。
- ②運搬に耐えられる梱包をして提出してください。
- ③展示や輸送において最大限配慮いたしますが、破損して困るものの応募はご遠慮ください。
なお、受賞した場合は原則実物を作品展にて展示いたします。
- ④作品の他に、審査基準項目の説明をするための「制作ノート」を提出することを推奨します。
「制作ノート」の記入例は教育科学館ホームページにて公開しますので参考にしてください。

個人応募

作品と応募用紙を一緒に、
教育科学館まで持参または送付
してください。

学校推薦(区内小・中学校が対象)

板橋区内の学校に提出した作品が学校推薦を受けた場合は、
応募用紙を学校の担任の先生に提出してください。各校の
ご担当の先生は、作品と応募用紙および学校推薦作品
申込書と一緒に提出ください。



太陽君から愛をもらい、ほとけの熱中症大図鑑 木村誠太



おきなかぶがぬけたあと 伊藤新奈

保護者の方へ

※必ずお読みください。情報の公開について | 本作品が受賞した場合、学校名、学年、氏名、作品タイトル、作品内容等の情報は、主催者の展示会、
教育科学館HP等を通じて広く外部に公開する予定です。あらかじめご同意いただきますようお願い申し上げます。ご同意いただけない場合は作品
を受取することが出来ません。なお住所、電話番号については主催者が責任を持って管理を行い、外部に公開することはありません。作品の返却
方法について | 板橋区立学校所属の方には、学校推薦応募・個人応募に関わらず、所属学校へ返却させていただきます。区立学校所属以外の
方は、教育科学館へ作品を受け取りに直接来ていただきますようお願いいたします。＜予定返却期間＞受賞作品以外：11/14(土)～11/29(日)/受賞
作品：第2期終了後。詳細は教育科学館ホームページをご確認ください。

審査委員



審査委員長
板橋区教育長
長沼豊
元中学校教諭、元大学教授、元中学校校長。座右の
銘は「夢を大切に」。

今年度から始まった板橋区教育ビジョン
2035「MIRAI SCHOOL いたばし」に
合った作品を期待します。



板橋区立教育科学館
学術顧問
池辺靖
日独米での宇宙物理学者歴
が15年。科学館での科学コ
ミュニケーター歴が22年です。

苦勞して悩みながらとことん探究できたな
ら、その楽しさを私たちに教えてください！



(株)BIOTA
代表取締役社長
伊藤光平
株式会社BIOTA代表取締役
社長。微生物が豊かなまちづく
りをしています。

みんなの多様な興味やワクワクに満たされた
「じゅうな研究」を見られることをとても楽しみ
にしています！



板橋区教育委員会事務局
地域教育力担当部長
金子和田
野球と柴犬の散歩が日課。
地域教育の現場から子ども
たちを応援しています！

君の「なぜ」や「やってみたいこと」が、未来を
ひらくよ。この夏も自由な発想あふれる研究
を楽しみにしています。



日本特殊光学樹脂(株)
代表取締役社長
佐藤公一
特殊なレンズを創る町工場
社長。好奇心旺盛で扱う分
野は科学から芸術まで！

興味を持ち、こだわり抜き、なぜ？を突き詰め
て下さい！なほど！と感心させてもらえる皆
さんの研究が楽しみです！



東洋大学
副学長
澤口隆
学生時代に岩石を研究し、
今は大学で46億年の地球
の歴史を教えています。

新しい発見は疑問や違和感から生まれます。
じゅうに研究して教科書を書きかえよう。



板橋区立教育科学館
館長
清水輝大
専門は学習科学。何でもお
もしろがるプロ。主体的な態
度を引き出す実践研究。

本気で好きなこと、気になること。そこに君だ
けの研究のタネがあるのかも。真に「じゅうな」
研究を楽しみにしています。



ソニーマーケティング(株)
MESH事業室 室長
萩原文博
アイデアを形にできるIoT
ブロック「MESH」を開発
した人

小さなひらめきや発見を大切に、自由に挑戦
してください。皆さんの研究を楽しみにしてい
ます！



立教大学 理学部 SCOLA
特任准教授
古澤輝由
科学と社会をつなげるサイエ
ンスコミュニケーター。イグ・ノーベ
ル賞日本担当ディレクターも。

「自由にやる」って難しい…。でも「自由にや
る」からこそ、楽しい！皆さんのワクワクの記
録、楽しみにしています！！



アーティスト
百瀬亮那
技術進歩によって変化する
未来の社会を考察・対話を
起こすアート制作

あなたの「好き」や「ワクワク」を教えてください！
失敗しても大丈夫、あなたらしい自由研
究を楽しみにしています。

※審査委員長以外の審査委員は五十音順



ほとけのつるでやく華さがし〜夏バージョン〜 坂本明美